

(11)Publication number:

2002-140858

(43)Date of publication of application: 17.05.2002

51)Int.CI.

G11B 20/10

21)Application number: 2001-274155

(71)Applicant: SONY CORP

22) Date of filing:

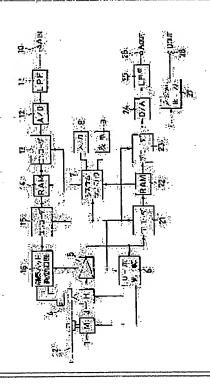
25.05.1991

(72)Inventor: MAEDA YASUAKI

54) CONTROL METHOD OF REPRODUCING DEVICE

57) Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide a control method of a reproducing levice such as efficiently realizing the resume function to restart the next eproduction from the position where the reproducing operation is stopped. SOLUTION: Digital data recorded on an optical disk 2 are read out and written into a memory 22, then the reproduction is carried out while performing the read-out control. When the reproduction stopping operation is made by a key input operation part 8 at the time the resume mode is being selected, the time information of read-out data from the memory 22 is stored and held in a back-up memory. When the reproducing operation is nade next, the read-out of the data is started from the position on the optical disk 2 based on the time information being held in the back-up nemory.



BEST AVAILABLE COPY

EGAL STATUS

Date of request for examination]

10.09.2001

Date of sending the examiner's decision of rejection]

Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted egistration]

Date of final disposal for application]

Patent number]

3438729

Date of registration]

13.06.2003

Number of appeal against examiner's decision of ejection

Date of requesting appeal against examiner's decision of ejection

Date of extinction of right]

Copyright (C); 1998,2003 Japan Patent Office

Japanese Unexamined Patent Publication No. 140858/2002 (Tokukai 2002-140858)

A. Relevance of the Above-identified Document

The following is a partial English translation of exemplary portions of non-English language information that may be relevant to the issue of patentability of the claims of the present application.

B. Translation of the Relevant Passages of the Document

See also the attached English Abstract.

[CLAIMS]

1. A method for controlling a reproducing apparatus for (i) storing, in a memory, compressed data intermittently read out from an optical disc at a first rate by an optical head driven by head driving means, and (ii) decompressing and reproducing the compressed data which is read out at a second rate slower than the first rate, and which is stored in the memory, a difference between the first rate and the second rate causing a time gap between (a) a signal that is being reproduced, and (b) data that is being read out from the optical disc,

said method, comprising the steps of:

(A) detecting an input which instructs halt of reproducing the data;

- (B) halting the reproduction of the data, and reading out, from the memory, reproduction halt time information corresponding to time at which the reproduction is halted, when detecting the input which instructs the halt of the reproducing the data;
- (C) causing holding means to hold the reproduction halt time information, which holding means holds memory content even when power of the apparatus is off;
 - (D) turning off the power of the apparatus;
- (E) detecting an instruction of resuming the reproduction;
- (F) detecting whether or not a resume mode is set so as to resume the reproduction from a reproduction halt position; and
- (G) in cases where it is detected that the resume mode is set, controlling the head driving means, in accordance with the reproduction halt time information held by the holding means, such that data readout is carried out from a data storage position in the optical disc, which data storage position corresponds to the reproduction halt time information.

[EMBODIMENT]

[0018]

. . .

In cases where the header time or the like is not written in the memory 22, time information is used. The time obtained by determining time that information is aforesaid readout data. The the corresponds to determining is carried out in accordance with (i) time information, such as the header time, about data to be written in the memory 22; and (ii) information of an address difference (specifically, e.g., a time difference) between the write-in pointer towards the memory 22, and the readout pointer towards the memory 22.

存期2002-140858 (11)特許出願公開番号

(P2002-140858A)

(43)公開日 平成14年5月17日(2002.5.17)

ナイコート (参考) 5D044

4

F1 G11B 20/10

数別記句 321

G11B 20/10

(51) Int.Cl.7

全12到 O T 館水項の数1 你在耐水 有

> 梅園平3-149371の分割 (62)分割の投示 (21) 出版每号 (22) 出版日

(71) 出國人 000002185 **内間2001-274155(P2001-274155)** 平成3年5月25日(1991.5.25)

ンニー株式会社

収式都品川区北温川6丁目7番35号 ソニ 東京都品川区北岛川6丁目7番35号 前田 保旭 (72) 発明者

一株式会社内

(74) 代理人 100057738

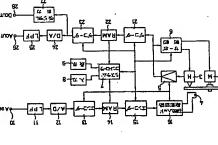
F ターム(参考) 51044 AB05 B008 0004 FG10 FG23 **外理士 小档 晃 (外2名)**

再生装置の制御方法 (54) [発明の名称]

(67) [要約]

【課題】 再生動作を停止したところから次の再生を再 **期するレジューム機能を有効に実現できるような再生装** 置の制御方法を提供する。

一夕を読み取ってメモリ22に対して笛き込み、読み出 し間御しながら再生する。レジュームモードが選択され ている駅に、キー入力操作部8で再生停止操作がなされ ると、メモリ22からの読み出しデータの時間情報をパ ックアップ用メモリに配億して保持しておく。次に再生 操作がなされると、パックアップ用メモリに保持されて いる時間情報に基づく光ディスク2上の位置からデータ 【解決手段】 光ディスク2に配録されたディジタルデ を読み取り開始する。



[特許請求の範囲]

3

昭動される光学ペッドによってデータ圧縮処理されたデ **ータを第1の速度で間欠的に読み取ってメモリに一旦記** リに記憶されたデータ圧縮されたデータを読み出してデ ータ伸張して再生することによって再生中の倡号と上記 【酵水項1】 光ディスクからヘッド駆動手段によって **慎し、上記第1の速度よりも遅い第2の速度で上記メモ** 光ディスクから読み出し中のデータとで時間的なずれが ある再生装置の制御方法において、

から再生が停止されたときの再生停止時間情報を読み出 合、上記データの再生を停止させるとともに上記メモリ 上記データの再生の中断の指示の入力が検出された場 ナステップと

上記データの再生の中断の指示の入力を検出するステッ

上記再生停止時間情報を装置の電源の遮断時においても 記憶内容が保持される保持手段に保持させるステップ

上記装置の電源を遮断するステップと、

再生の中断位置から再生の再開が行われるためのリジュ **ームモードが散定されていることを検出するステップ** 再生の再開の指示を検出するステップと、

た場合に、上配保持手段に保持された上配再生停止時間 広するデータの配録位置からデータが読み取られるよう 上記リジュームモードが設定されていることが検出され 育報に基乙いて上記光ディスクの上記停止時間情報に対 こ上記ヘッド駆動手段を制御するステップとを有するこ とを特徴とする再生装置の制御方法。

[発明の詳細な説明] [0001]

型装置への適用が可能となる。

ខ្ព

された光ディスクからデータを配み取って、メモリに対 [産業上の利用分野] 本発明は、ディジタル信号が記録 して杳き込み、読み出ししながら再生を行うような再生

被置の制御方法に関する。

0002

21号、特願平2-222823号の各明細普及び図面 タルオーディオ信号をピット圧縮し、所定のデータ址を 【従来の技術】本件出願人は、先に、入力されたディジ 記録単位としてパースト的に記録するような技術を、例 えば特願平2-169977号、特顧平2-22136 4号、特願平2-221365号、特顯平2-2228 毎において提案している。

-ディオデータ、あるいは他のフォーマットに従ってど ット圧縮符号化されたディジタルオーディオデータを配 [0003] この技術は、記録媒体として光磁気ディス ク等を用い、例えばいわゆるCD-I (CD-インタラ ォーマットに規定されているAD(適応整分)PCMオ **敬再生するものである。このビット圧縮されたディジタ** クティブ) やCD-ROM XAのオーディオデータフ

例えば32セクタ分毎に、隣接セクタのデータとの間の インターリーブを考慮して繋ぎ用のセクタ (リンキング セクタ)を前後に付加し、パースト的(関联的)にセク ルオーディオデータは所定データ出を記録単位として、 タ連続で配録するようにしている。

[0004] ここで、例えばいわゆる標準的なCD (= マット)のデータ、あるいはアナログオーディオ信号を 単純に直線盘子化して得られるいわゆるストレートPC Mオーディオデータを、略々1/4にピット圧縮して記 段再生する場合を考察する。この略々1/4にピット圧 ンパクトディスク) のフォーマット (CD-DAフォー **箱されて配敷されたディスクの耳生時間 (プレイタイ**

路 (ペリファイ) 動作や、正常に配録が行えなかった場 生の(瞬時的な)ピットレートを上記標準的なCD-D Aフォーマットと同じにしておくことにより、実際に配 タの記録時においては、記録が正常に行えたか否かの確 再生データの観り率が高い場合の再読み取り動作等であ も、記録再生がより確実に行えることになり、携帯用小 から、抜型の小型化が図れることになる。また、記録再 段や再生を行うのに要する時間もそれぞれ略々 1/4で 済むことから、残りの略々3/4の時間をいわゆるリト フォーカスやトラッキング勢が外れるような脳条件下で ライ等に割り当てることができる。具体的に倒えばデー る。これにより、例えば外乱によって機構部が振動して 合の再售き込み動作等であり、また再生時においては、 2 cmのCDと同じ程度の配象再生時間が得られ ム)は、圧縮前の上記ストレートP CMデータ、 上記CD-DAフォーマットのデータを記録す 略々4倍となる。これは、より小型のディスグ

クタを除去して上記パッファ用メモリに費き込む。この 位のデータ虫(例えば32セクタ+リンキング用の数セ クタ)のデータを再生し、前後の上記リンキング用のセ メモリから上記一定レートで連続的に圧縮データを脱み 【0005】このような略々1/4にピット圧縮された 圧粕データの配像及び/又は再生用のパッファメモリが が一定レートで連続的に告き込まれ、略々4倍の速度で パースト的あるいは間歇的に骹み出される。 このパース ト競み出しの際の1回のデータ虫は、上記記録単位とな あるいは間歇的に上配略々 4倍の速度で上配所定配録単 必要とされる。このメモリは、配録時には、圧格データ 録される。また再生時には、ディスク上からパースト的 ディジタルオーディオデータを配録再生するためには、 る所定データ盘、例えば32セクタ分であり、上並 ように前後にリンキング用の数セクタが付加され スク上に空間的に連続して (先の記録部分に続け

ファメモリの全配値容量をMT とするとき、上配圧権 50 データが音き込まれて未だ説み出されていないデータ 丘 [0006] ここで、上記記録及び/又は再生用のパッ

との和はMT となる。このようなメモリに対する (未読出データ量) と、この未読出データを破壊しない で書き込み可能なメモリの残りの配憶容量(街込可能容 哲き込みや競み出しの制御について以下に説明する。

の配録単位毎 (例えば上記32セクタ+数セクタ毎) に **一定データレートで上配圧権データを告き込み制御する** と、この苺込データレートよりも速い試出レートで所定 パースト的に競み出し、ディスク等の記録媒体に記録す いないデータは上記メモリ上で上記未読出データとされ る。ここで、振動等の外乱等により上記記録媒体への記 きには上記メモリ内の未覧出データ量が減らず、未配出 ゲータ型が上記メモリの全記世容量MTに近いときには 一定レートで哲き込まれる圧縮データによりこの未能出 えなかったりした場合の上配未読出データの破壊を防止 するものである。上記 (MT -MK) は、媒体への 記録の中断状態の復帰や再記録等に要する時間を想定し をメモリに哲き込む動作を続け得る程度に設定しておけ 【0007】配録時には、上記パッファメモリに対して と共に、上配未轄出データ量が所定量MK・以上になる るように制御している。この配録媒体に未だ配録されて 段助作が中断されたときや記録が正常に行えなかったと ゲータが破壊されることがある。この点を地域して、パ て、この時間分だけ上記一定ゲータレートで圧縮ゲータ おくことにより、媒体への配録が中断されたり正常に行 り、すなわち些込可能領域の配憶容量に余裕を持たせて ッファメモリの上記事込可能容量が (MT -MK) を下回る段階で記録媒体への記録を行わせることによ 1447

[0011]

ば記録媒体に対して記録データを再度説み取るのに要す [0008]また、再生時には、配録媒体からパースト 的に既み取られた圧縮データがメモリに告き込まれて一 を下回ると配像媒体からパースト的に筋み出してメモリ スク毎の配録媒体からのデータ読み取りが外乱等により 正常に行えなかった場合でも、残りの未乾出データ伍M 1. を読み出し続けることができ、一定レートでの説み る時間分だけ上記一定レートで圧縮データをメモリから 出し動作が中断されて再生が中断されることがないよう にしたものである。この未競出データ量ML は、例え への哲き込みを行うように制御している。これは、ディ のとき、メモリ内の上配未読出データ量が所定量ML だデータレートで節み出されるように制御されるが、 品み出す動作を続け得る程度に設定すればよい。

) ピート機能等を付加している。 さらに、ディジタルオ [発明が解決しようとする瞑題] ところで、一般のいわ 再生動作を一時的に停止させるポーズ機能や、所留の曲 を強んで再生する強曲再生機能や、1曲あるいはディス ク金ての曲を繰り返し再生する1曲/全曲リピート機能 や、任意のA点からB点までを繰り返し再生するA/B **ゆるCD (コンパクトディスク) プワーヤにおいては、** [6000]

も多い。これらの機能を利用することによって、操作上 の手間が省けるのみならず、オーディオの楽しみ方が広 ーディオ信号の場合のみならず、いわゆるCD-ROM て、再生を中断した後に、同じ位置から再生を再開でき るようないわゆるリジューム機能が付加されていること 等のように一般データの記録再生に用いる場合も含め がることにもなる。

から、現在再生中の信号と、ディスクから競み出し中の 号から続くように上配再期時に再生を開始させることが 困難である。また、このような機能を付加するための檊 成は単純な方が留ましい。本発明は、このような実情に **配みてなされたものであり、簡単な構成で、上記いわゆ** タの配録再生装置又は再生専用装置等に付加しようとす 信号とで時間的なずれがあり、再生を中断した時点の信 るリジューム機能を実現させ得るような光ディスクの再 【0010】このような機能を上述したような圧縮デー るとき、特に上記リジューム機能を実現しようとすると き、上記再生用のパッファメモリが用いられていること 生装置の制御方法の提供を目的とする。

生の中断の指示の入力が検出された場合、上記データの **記再生停止時間情報を装置の電源の遮断時においても配** [戦題を解決するための手段] 本発明に係る再生装置の タを第1の速度で間欠的に読み取ってメモリに一旦記憶 タ伸張して再生することによって再生中の信号と上配光 る再生装置の制御方法において、上記データの再生の中 断の指示の入力を検出するステップと、上記データの再 上記装置の電源を遮断するステップと、再生の再開の指 示を検出するステップと、再生の中断位置から再生の再 制御方法は、光ディスクからヘッド駆動手段によって駆 ディスクから競み出し中のデータとで時間的なずれがあ 再生を停止させるとともに上記メモリから再生が停止さ れたときの再生停止時間情報を読み出すステップと、上 国が行われるためのリジュームモードが設定されている 定されていることが検出された場合に、上配保持手段に スクの上配停止時間情報に対応するデータの記録位置か らデータが読み取られるように上記ヘッド駆動手段を制 助される光学ヘッドによってゲータ圧縮処理されたデー し、上記第1の速度よりも遅い第2の速度で上記メモリ に配位されたデータ圧縮されたデータを読み出してデー ことを検出するステップと、上記リジュームモードが設 保持された上配再生停止時間情報に基づいて上配光ディ 億内容が保持される保持手段に保持させるステップと、 卸するステップとを有することを特徴とすることによ

報をパックアップ用記憶手段に記憶しておき、、再生動作 の再閉時に抜パックアップされているアドレス情報に基 [作用] 上記メモリからの数み出しゲータのアドフス位 ろいて光ディスクをアクセスして、破アドレス倍換に対 り、上述の課題を解決する。 [0012]

応するディスク位置から記録データを読み取って、上記 メモリに対して倍き込み、簡み出し動御しながら再生を 行うため、中断しだ内容から続けて再生が行われる。

[奥施例] 先ず図1は、本発明に係る再生装置の制御方 生の一実施例が適用される光ディスク配像再生装置の概 [0:0-1:3]

略構成を示すプロック回路図である。

れている。この記録信号を光学ヘッド3により所定記録 脱み取り、デスクランプルや関り町正復号化のためのデ **庇のゲータレートで的な出し、。 貯穀回たのピット圧縮処** 【0014】この図1において、光ディスク2等の配録 **媒体にはピット圧縮ディジタルオーディオ僧号が記録さ** 単位 (例えば32セクタ+数セクタ) 毎にパースト的に 理を復元(伸長)して復身化するためのデコーダ23を り)等のメモリ22に哲き込み、このメモリ22からー コーダ21を介してピット圧縮オーディオデータを得 5. この圧縮データをRAM (ランダムアクセスメモ 介して、オーディオ信号の再生を行う。

タの毎込動作制御は、餃メモリ22内のデータ曲が一定 **型以下となるとき、上配光ディスク2等の配録媒体から** モリ22内にデータ哲込可能な空き領域が残っている間 は次々とデータを読み取って書き込み続けるが、空き質 取りを停止し、倒えば光学ヘッド3は光ディスク2上の [0016] また、システムコントローラ7として用い 核が一定値以下となって毎き込めなくなると、すなわち **政質的なメモリフル状態になると、配験媒体からの説み** 同じトラック位置をトレースし続けたり、次に読み取る [0015] ここで、上記メモリ22に対する圧縮デー 上配圧縮データを飲み取ってメモリ22に告き込み、メ べき位置付近で待機状値となるような制御が行われる。

られているCPU (中央処理ユニット) は、内部にRO MやR AMを含んでおり、低池等のパックアップ用配弧 し続けるようにしてもよい。また、低消費電力型のメモ プ用メモリのみを虹波オフ時にパッツアップし続けるよ によりメイン配源適断時 (パワーオブ時) にも少なくと もRAMの配位内容がパックアップされるようになって いる。このメイン和原道部トードの代わりに、ディスク するスタンパイモードを設け、この間もCPU等はオン リをパックアップ記憶用に別個に設け、このパックアッ 回転駆動用モータやサーボ回路等の動作館頭のみをオフ

【0017】このような構成を少なくとも有する装置に おいて、キー入力操作部8にて、先ずいわゆるリジュー ムモードかそれ以外のノーマルモードかが切換選択され 5。このリジュームモードに切換選択されているときに れて再生助作が停止されても、次に再生モードを再び切 は、再生停止ボタンあるいは電腦オフボタン等が操作さ 後選択すれば、上配再生を停止した時点の内容に続けて 再生が再開される。

【0018】このリジューム機能を実現するためには、

メモリ22から銃み出されるデータについての時間依頼 を上記スックアップ用メモリに記憶している。この読み 許き込みを行っている場合には餃メモリ22から餃み出 出しデータの時間情報としては、メモリ22にディスク 的級ゲータ中のいわゆるヘッダタイム等も含めてデータ

タン操作時に上記パックアップ用メモリに書き込めば足 り毎に告き込み続けるようにし、告き込まれた時間ሰ報 に基分いて実験の再生時間等を算出して表示部9に表示 させるようにしてもよい。上配再生停止ボタンあるいは ヘッド駆動系、サーボ回路系、オーディオ信号再生系勢 に、少なくとも上記パックアップ用メモリや必要に応じ ポインタと競み出しポインタとのアドレス塾 (具体的に は例えば時間差)情報とから上記読み出しデータに対応 する時間を算出した時間情報を用いる。この読み出しデ **一タに対応する時間情報は、少なくとも上配再生停止ポ** りるが、再生動作中は常にこの時間情報を上記システム コントローラフ内のレジスタや上記パックアップ用メモ **虹頂オフポタン等が操作されると、モータ駆動系や光学** てシステムコントローラ 7 近傍やC P U 等の虹鎖のみが イモード、あるいはパワーオフモードに移行する。この 生きているような、いわゆるスリープモード、スタンパ (再生停止時のメモリ競み出しデータの時間情報) は保 の主要な配額が落とされ、再生動作が停止されると共 間、上記パックアップ用メモリに配憶された時間情報 されたヘッダタイム等の時間情報をそのまま用いる。 モリ2.2に上記ヘッダタイム等を告き込んでいない。 ゲタイム等の時間情報と、メモリ22に対する昏き **には、メモリ22に中き込まれるデータについて** 持される。

て再生が再開される。これは、メモリ2.2に告き込まれ るデータの時間情報を用いる場合には、再生停止操作時 にメモリ22に告き込まれているデータを脱み出し終わ るまでの時間遅れが生じたり、直ちに再生を停止させる 【0019】次に、キー入力操作部8の再生モード遊択 る。従って、上記再生停止時に中断された内容から続け と再生を再開したときに内容の連続性が保てなくなるよ 置から記録データを読み取ってメモリ22に告き込むと ボタンが操作されると、システムコントローラ7は上8 ス制御し、光ディスク2上での破時間情報に対応する。 共に、このメモリ22から銃み出したデータを再生す パックアップ用メモリから上配再生停止時のメモリ 出しゲータの時間情報に基心いて光学ヘッド3をア うな不具合を未然に回避できることになる。

[0020]以下、図1に示す具体的な構成について群 **悩に説明する。スピンドルキータ1により回転駆動され** 涵称のCD(コンパクトディスク)と阿袋なアルミニウ so の光ディスク (倒えば光磁気ディスク) 2 に対して配録 5 光ディスク 2 としては、配録が可能な例えば光磁気デ イスクΦが用いられる。ただし、再生専用の場合には、 ム反射膜タイプの光ディスクを用いることもできる。

(寺 5月2002-140858 (P2002-140858A)

E

特 BB 2002-140858 (P2002-140858A)

一ポ制御回路やトラッキングサーボ制御回路、スピンド ルモータサーボ制御回路、スレッドサーボ制御回路等か ら構成される。上記フォーカスサーボ制御回路は、上記 フォーカスエラー信号がゼロになるように、光学ヘッド 3の光学系のフォーカス制御を行う。また上記トラッキ ングサーポ制御回路は、上記トラッキングエラー信号が **刺御を行う。さらに上記スピンドルモータサーボ制御回** 路は、光磁気ディスク2を所定の回転速度(例えば一定 **ᇦ速度)で回転駆動するようにスピンドルモータ 1 を**制 ムコントローラ 7 により指定される光磁気ディスク 2 の 目的トラック位置に光学ヘッド3及U磁気ヘッド4を移 助させる。このような各種制御助作を行うサーボ制御回 路6は、核サーボ側御回路6により制御される各部の動 作状態を示す情報をシステムコントローラ7に供給して 【0022】サーポ制御回路6は、例えばフォーカスサ ゼロになるように光学ヘッド3の光学系のトラッキング **卸する。また、上記スレッドサーボ制御回路は、システ**

切換選択ボタン等が設けられている。またシステムコン 【0023】システムコントローラ7にはキー入力操作 第8や表示部9が接続されている。このシステムコント ローラフは、キー入力操作部8による操作入力情報によ り指定される動作モードで記録系及び再生系の制御を行 う。このキー入力操作部8内に上記リジュームモードの

セクタ単位のアドレス情報(時間情報)に基づいて、光 学ヘッド3及び磁気ヘッド4がトレースしている上配配 殴トラック上の配録位置や再生位置を管理する。接示部 操作により選択された機能の情報等が必要に応じて表示 される。ここで、例えばシステムコントローラ7に用い 込むデータの時間情報と読み出すデータの時間情報との る時間情報が告き込まれる。そして、再生動作が停止操 れ続け、配億内容が保持されるようになっている。この ッダタイムやサブコードのQデータ等により再生される られるCPUの内蔵RAMや、別個の低消費虹力型RA のパックアップ用メモリは、少なくとも上記リジューム モードに切換避択されているときに、メモリ22に告き ずれを考慮して、メモリ22から読み出すデータに関す 作されても、このパックアップ用メモリに危頭が供給さ パックアップ用メモリを用いたリジューム機能の動作に トローラ1は、光磁気ディスク2の記録トラックからへ 9 には、この配録位置又は再生位置の情報や、上記キー M等がパックアップ用メモリとして用いられている。こ ついては後述する。

記アナログオーディオ入力信号A 1 Nを量子化し、得ら D-DAフォーマット)と同様に、サンプリング周故教 れたディジタルオーディオ信号は、例えばAD(適応差 オ信号を、ディジタル入力インターフェース回路(図示 せず)を介してエンコーダ13に供給するようにしても ディオPCM信号は、圧縮処理等の施されていないいわ ゆるストレートPCMデータであり、具体倒として、標 **智的なCD (コンパクトディスク) のフォーマット (C** が44.1kHzで、由子化ピット数が16 ピットのPC は、エンコーダ13により、例えば略々1/4のピッ 【0024】次にこのディスク配録再生装置の配録系に D変換器12に供給されている。A/D変換器12は上 よい。このエンコーダ13に入力されるディジタルオー Mデータとする。この入力されたオーディオPCMデー ついて説明する。入力端子10からのアナログオーディ 分) P C M等の高能率符号化処理のためのエンコーダ 1 3に供給される。また、外部からのディジタルオーディ オ入力信号AINがローパスフィルタ11を介してA/ 、レートとなるような高能率ピット圧縮処理が行われ

圧縮データを光磁気ディスク 2 に配録する際には、上配 宿データが、メモリ14に連続的に沓き込まれる。この 摂準的なCD-DAフォーマットと同じディスク回転速 [0025] 次にメモリ14は、データの告き込み及び ンコーダ13から供給されるピット圧縮データを一時的 に記憶しておき、必要に応じてディスク上に記録するた めのパッファメモリとして用いられている。すなわち例 **えば上記1/4のピット圧縮モードにおいては、標準的** なCD-DAフォーマットのデータ転送速度(アットン -ト) の略々1/4六帝核された一所アットワートの円 院み出しがシステムコントローラ7により制御され、エ

的あるいは離散的に配錄している。すなわち記録モード 休止期間である。ただし、光磁気ディスク2上では、休 止期間の直前に配録された領域に続けて次の配録が行わ マットと同じ記録密度、記憶パターンの記録が行われる 度(粮油度一定)の下に同じデータ転送速度でパースト /4であり、残りの3/4の時間は配録を行っていない れ、媒体表面上では連続した配録が行われるようにして いる。これによって、例えば標準的なCD-DAフォー の際の実際に信号を記録している時間は、全体の略々1

る。このクラスタ技徳用セクタは、エンコーダ15での ンコーダ15に供給される。ここで、メモリ14からエ ンコーダ15に供給されるデータ列において、所定の複 ンコード処理されると、 眩1クラスタ分のデータ 肚にク [0026] このため、メモリ14からは上記標準的な CD-DAフォーセットのゲータ転送当政に応じたピッ この飲み出された圧縮データは、インターリーブ処理や 関り訂正符号化処理やEFM変騆処理等を行うためのエ 数セクタ (例えば32セクタ) から成る1クラスタ分を 1回の配録で連続記録される単位としており、これがエ インターリーブ長より長く散定しており、インターリー プされても他のクラスタのデータに影響を与えないよう トレートでパースト的に上配圧縮データが踏み出され、 ラスタ接続用の数セクタ分が付加されたデータ母とな にしている。このクラスタ単位の記録の詳細について

ターリーブ処理)やEFM符号化処理などを施す。この [0027] エンコーダ15は、メモリ14から上述し エンコーダ15による符号化処理の施された配録データ が、磁気ヘッド駆動回路16に供給される。この磁気へ 上記記録データに応じた変調磁界を光磁気ディスク2に エラー訂正のための符号化処理 (パリティ付加及びイン たようにパースト的に供給される配録データについて、 ッド駆動回路16は、磁気ヘッド4が接続されており、 印加するように磁気ヘッド4を駆動する。

は、図2を参照したがら後述する。

記録トラックをレーザ光でトレースすることにより、光 のメモリ制御によりメモリ14からパースト的に読み出 される上記記録データを光磁気ディスク2の記録トラッ クに連続的に記録するように記録位置の制御を行う。こ ク上に連続的に配録された配録データを再生するための ものであり、光学ヘッド3によって光磁気ディスク2の [0028]また、システムコントローラ7は、メモリ 1.4に対する上述の如きメモリ制御を行うとともに、こ の記録位置の制御は、システムコントローラ7によりメ モリ14からパースト的に競み出される上記記録データ ク上の記録位置を指定する制御信号をサーボ制御回路6 は、上述の記録系により光磁気ディスク2の記録トラッ の記録位置を管理して、光磁気ディスク2の記録トラッ に供給することによって行われる。次に、このディスク 記録再生装置の再生系について説明する。この再生系

ットと同じ回転速度(検速度一定)で回板駆動されてお ンプ回路5により2位化されてデコーダ21に供給され り、豚CD-DAフォーマットと同じデータ原送遊貨で 光磁気ディスグ2は、上配標準的なCD-DAフォーマ **パースト的(雛数的)に配録信号が配み取られ、RFT** 磁気ディスク 2から記録信号が読み取られる。ここで、

り2値化された再生出力について、デインターリーブ処 理や関り訂正のための復号化処理やEFM復職処理等の 処理を行い上述の1/4圧縮データを、例えば上記標準 【0029】デコーダ21は、上述の記録系におけるエ ンコーダ15に対応するものであって、RF回路5によ 的なCD-DAフォーマットと同じゲータ転送 **ースト的に出力する。このデコーダ21によ**| 再生データは、メモリ22に供給される。

ダ21から上配模準的なCD-DAフォーマットと同じ データ転送速度でパースト的に供給される再生データが ト、ナなわち上配原準的なCDーDAフォーマットの略々1/4のデータ伝送返収で連続的に競み出される。 哲き込まれる。また、このメモリ22は、上記パースト 【0030】メモリ22は、データの笛き込み及び脱み 出しがシステムコントローラ7により側仰され、デコー 的に喜き込まれた上配再生データが、一定のビットレー

制御を行うと共に、このメモリ制御によりメモリ 2 2 か **イスク2の配録トラックから連続的に再生するように再** コントローラ7によりメモリ22からバースト的に読み 出される上配再生データの再生位置を管理して、光磁気 ディスク 2 の記録トラック上の再生位置を指定する関節 **18号をサーボ側御回路6に供給することによって行われ** [0031]システムコントローラ7は、このようなメ モリ22に対する上配再生データの街込/読出のメモリ らパースト的に審き込まれる上配再生データを光磁気デ 生位置の制御を行う。この再生位置の制御は、

【0032】メモリ22かち上配標準の略々1/4の転 送速度 (アットレート) で連続的に就み出された再生テ のデコーダ23からのディジタルオーディオデータは、 **ータとして得られる圧縮データは、デコーダ23に供** 6 ピットのディジタルオーディオデータを再生する。 を例えば4倍にデータ仲毀(ビット仲吸)するこ 13に対応するもので、例えば上記1/4の圧Å される。このデューダ23は、上記記録系のエ

[0033] D/A変換器24は、デコータ23から供 給されるディジタルオーディオデータをアナログ信号に 変換し、ローパスフィルタ25を介して出力端子26か [0034] ところで、このようなディスク配像再生装 **置に用いられる光磁気ディスク2は、ステレオオーディ** らアナログオーディオ出力信号AOUT を出力する。 D/A変換器24に供給される。

オ信号で60分以上74分程度までを配録可能な容型と

G

成っており、これらのクラスタこの間にそれぞれ4個の [0035] 次に、以上説明したようなディスク記録再 生装置による基本的な記録再生動作について、さらに詳 ラスタの間にクラスタ接続用のいくつかのセクタが配さ ラスタと連結されている。ここで、1つのクラスタ、例 えばk番目のクラスタCk を配録する場合には、この わちクラスタCk-1 何にランーインプロック用の2 と、クラスタCk+1 例にランーアウトプロック用の 晳に説明する。先ず、記録ゲータ(メモリ14から読み 出されたデータ) は、一定数 (例えば32個) のセクタ (あるいはブロック) 毎にクラスタ化され、これらのク クラスタCは3 2個のセクタ(プロック)B0~B31 から 接続用(リンキング用)セクタL1~L4が配されて隣のク 前方に3セクタ、後方に1セクタの接殻用セクタ、すな 1個のセクタ1.1とを含めて、計36セクタを単位として れた形態となっている。具体的には図2に示すように、 クラスタCk の32個のセクタB0~B31 のみならず、 個のセクタ12、13及びサブデータ用の1個のセクタ14

り、インターリーブ処型による本来のデータに対する悪 記録を行うようにしている。このとき、これちの36セ クタ分の記録データがメモリ 1 4 からエンコーダ 1 5 に 込られ、このエンコーダ15でインターリーブ処理が行 なお、セクタ1.1~1.3には例えば0等のグミィデータが配 われることにより、最大108フレーム (約1. 1セク タに相当)の距離の並べ換えが行われるが、上記クラス タCk 内のデータについては、上記リンキング用のセ クタL1~L4の範囲内に充分に収まっており、他のクラス タCkー1 やCk+1 に影響を及ぼすことがない。 され、セクタし4には補助的なサブデータが配されてお

~B31 には8 アットの2 道数 (2 桁の16 道数) で 000 **影魯を回避たきる。 いいた、メインゲータ用のセクタB0** 0 0000 (0 0 H) ~ 0001 1111 (1 FH) のセクタ番号 **がそれぞれ付され、リンキング部分のセクタL1には 001** 0 0000 (20H), L2~L4KH 0011 1101 (3DH) ~ いる。また、上記クラスタとしては、リンキング用セク 0011 1111 (3 FH) のセクタ番号がそれぞれ付されて タを含めた例えば36セクタを1クラスタとしてもよ

タが正常に配録できなかった場合には上配クラスタ単位 【0036】このようなクラスタ単位の配録を行わせる ことにより、他のクラスタとの聞でのインターリーブに よる相互干渉を考慮する必要がなくなり、データ処理が 大幅に簡略化される。また、フォーカス外れ、トラッキ ングがれ、その他の戦動作等により、配録時に記録ゲー で再記録が行え、再生時に有効なデータ読み取りが行え なかった場合には上記クラスタ単位で再読み取りが行え

36パイトが、この頃に配列されている。このセクタ構 トずつの分、秒、プロックのアドレス的分に続いて、モ ード情報用の1パイトから成っている。1のキード情報 [0037] ところで、1セクタ (プロック) は235 2パイトから成り、先頭から同期用の12パイト、ヘッ **ダ用の4パイト、及びデータD0001~D2336となる23** は、最初の1パイトが00H (Hは16道数を示す) で 10パイトのFFHが続き、吸後の1パイトが00Hと は、主としてCD-ROMのモードを示すためのもので あり、図2に示すセクタの内部構造は、CD-ROMフ ォーマットのモード2 に相当している。CD-Iは、こ なっている。 次の4パイトのヘッグは、それぞれ1パイ 造 (ブロック構造) における上記同期用の12パイト のモード2を用いた規格である。

SG01~SG18、20パイトのスペーン領域、及び オデータ記録のためのフォーマットを示しており、上記 2336メイトの個核の光脳がの、8メストのサンヘッ 4パイトのリザーブ領域の頃に配列されている。上記8 バイトのサブヘッダは、年1パイトのファイル毎年、 チ ナンネル毎号、サブモード、及びデータタイプが2回機 [0038] 図2の具体倒では、さらに、圧縮オーディ ダ、各128パイトで18グループのサウンドグループ り返されて配置されたものである。

りパリティ付加やインターリーブ処理等を含む符号化処 囲が施され、EFM (8-14変職) 処理が施されて、図3 [0039] ところで、このようなセクタ構造のデータ がディスク上に配録される数には、エンコーダ15によ [0040] この図3において、1プロック (1セク に示すような記録フォーマットにて記録が行われる。

タ) が第1フレームから第98フレーム生での98フレ しんから成り、1ファームはテャンネルクロック周期ド の 588倍(588丁) で、1フレーム内には、24丁 (+敬

されたものであり、98フレーム単位でプロック化され (+接続ビット3丁) のサブコード部分、及び 644丁の イトのパリティデータがいわゆるEFM変調されたもの であり、1フレーム内のオーディオデータは24パイト (すなわもオーディオサンプルデータの1ワードが16 ピットであるから12ワード)となっている。上記サブ コード部分は8 ピットのサブコードデータがEFM疫臨 て、各ピットが8つのサブロードチャンネルP~Wを構 ゲータ(オーディオデータ及びパリティデータ)部分が (12ツンボラ) のギーディギデータ、 4 ベイトのベリ ティゲータ、12パイトのオーゲィオゲータ、及び4パ 成している。ただし第1及び第2フレームのサブコード ロック回揚パターンSO, S1 となっており、各サン コードチャンネルP~Wは第3フレームから第98フレ 部分は、EFM変調の規則外(アウトオヴルール)のブ **続アット3丁)のファーム回越パターン部分、14丁** 設けられている。 544丁のデータ部分は、12パイト しるまでのそれぞれ96ピットずつとなっている。

理されて記録されているが、再生時にはデインターリー 【0041】上記オーディオデータはインターリーブ処 ブ処理されて時間の順序に従ったデータ配列のオーディ オデータとされる。このオーディオデータの代わりに、 一般のCD-1データ等を記録することができる。

[0042] ところで、上配図1のディスク配録再生装 になると、メモリ14のリードポインタRを上記標準的 的にインクリメントして所定の記録単位(例えば32七 置において、システムコントローラ7は、図4に示すよ **うに、メモリ14のライトポインタWを上配圧縮データ** のアットフートに応じた速度や連続的にインクリメント して連続的に告き込み、このメモリ14内に配憶されて いる上記圧縮データの末號出データ盘が所定量MK以上 なCD-DAフォーマットに準じた転送速度でパースト 所定虫 (MT -MK)を下回ることが防止されるこ て、メモリ14内では、上配米館出データを破壊するこ となく哲き込めるデータ量、すなわち配像可能容量が、 クタ分)毎に読み出すようにメモリ制御を行う。従っ とになる。

[0043] いいた、メポリ14からパースト色に競や 出される記録データは、システムコントローラ7により 光磁気ディスク 2 の記録トラック上の記録位置を制御す ることによって、光磁気ディスク 2の記録トラック上で 連続する状態に配録することができる。 しかも上述のよ うにメモリ 1 4 には常に所定量以上のデータ魯き込み領 域が確保されているので、外乱等によりトラックジャン プ等が発生したことをシステムコントローラ7が検出し て光磁気ディスク 2 に対する記録動作を中断した場合に 6、上配所定量以上の上配配録可能な領域に入力データ を卋き込み続け、その間に復帰処理動作を行うことがで き、光磁気ディスク2の記録トラック上には、入力デー タを連続した状態に配録することができる。

上記ディジタルオーディオ圧箱データにセクタ毎に付加 されて記録される。また、その記録領域と記録モードを [0044] なお、上記光磁気ディスク2ドは、上記セ クタの物画ア ドレスに対応するヘッダタイムゲータ特が

4 時2002-140858 (P2002-140858A)

示す目録データがTOC領域等の目録質域に記録され

ドポインタRを上配圧縮データのピットレートに応じた モリ22内に配位されている上配未配出データ量が所定 を行う。従って、メモリ22内に常に所定量ML 以上 ら、再生データを嵌メモリ22から連続的に館み出すこ してパースト的に告き込むとともに、メモリ22のリー 速度で連続的にイングリメントして競な出し、上配ライ トポインタWが上記リードポインタRに追い付いた(色 量ML 以下になると笹き込みを行うようにメモリ制御 -DAフォートットに咎じた情送遊費やインクリメント 込可能倒域が0となった)ときに告き込みを停止し、 の未配出データ母のデータ観み出し匈域を確保しなが [0045]次に、図1のディスク配録再生装置に ように、メモリ22のライトポインタWを標準的な る再生系では、システムコントローラ7は、

【0046】メモリ22にパースト的に母き込まれる再 って、光磁気ディスク2の配像トラック上で道徳する状 生データは、システムコントローラ7により光磁気ディ スク2の記録トラック上の再生位置を制御することによ 惟で再生することができる。しかも、上述のようにメモ リ22には常に所定量ML 以上のデータ配み出し領域 が確保されているので、外乱等によりトラックジャンプ **等が発生したことをシステムコントローラ7が検出して** 光磁気ディスク 2 に対する再生動作を中断した場合に とがてきる。

も、上配所定型ML 以上のデータ航み出し領域から、 生データを読み出してアナログオーディオ信号の出 **株統することができ、その間に復帰処理動作を行う**

の後の再生再期操作が行われた場合の動作の具体例につ うなリジュームモードが選択され、再生停止操作及びそ 【0047】次に、キー入力操作部8にて、前述したよ いて、図6及び図りを容照しながら説明する。 【0048】図6は、再生モード切換避択操作が行われ トップ (再生停止) 要求が有ったか否かの判別が行われ る。このステップS2でNO(ストップ要求無し)と判 たときのメインパーチンを示しており、先ずステップS 1において通常の処理が行われた後、ステップS2でス 別されるときにはステップS3に進んで上記リジューム モードになっているか否かの判別がなされ、NOのとき にはステップ S 4 に遊んでディスクの 1 曲目からの再生 助作が開始される。ステップS3でYESのとき(リジ ュームモードのとき)にはステップS5に道み、上記パ ックアップ用メモリから再生体止時の時間情報工

LASTを説み出す。この時間情報TLASTについて

8

図7を容照しながら説明する。

S (キー入力有り) とされたときには、ステップS14 ターン (RET 1) している。ステップS13でYE でストップキー (再生停止キー) か否かが判別され、Y テップS16ではその他の処理を行ってリターン (RE [0049] 図7 はタイマー初込みによるキー入力処理 助作の一部を示しており、一定時間周期のタイヤー割込 後、ステップS12でキー入力スキャン及び入力キー判 断の処理が行われる。次のステップS13でキー入力が 有ったか否かの判別がなされ、NO(キー入力無し)の **ときには核割込みラーチンから 元のメイン アーチンヘリ** ESのときにはステップS15に、NOのときにはステ ップS16に溢んでいる。ステップS15では、上記メ モリ22から就み出されるデータについての時間情報T PLY を、上配パックアップ用メモリ内に設けられた LAST=TPLY)した後、ステップS17でスト ップ 要求を出してリターン (RET I) している。 ス 再生停止時間情報 (用の変数) TLASTに格納 (T みに応じて、ステップ S 1 1 で通常の処理が行われた r 1) LTW5.

位置やセクタ位置へのヘッドアクセス制御動作が開始さ れ、アクセス位置からの再生動作が開始された後、上記 Cこの時間情報TLASTが有効な時間情報であるか否 かの判別がなされる。ステップS6でNOのときには上 記ステップS4に進み1曲目から再生間始される。ステ ップS6でYES(有効なTLASTである)と判別さ [0050] このようなキー入力処理により上記パック アップ用メモリ配憶された再生停止時間情報TLAST が図6のステップ 55で餅み出され、次のステップ 56 **れたときには、ステップS7に進み上配光磁気ディスク** 2 上でこの時間情報TLASTに対応する記録トラック ステップS1に戻っている。

S8に遊んで、再生信号をミュートしたり、モータ駆動 系、サーボ回路系等をストップモードに移行する為の動 **塩源供給はなされており、配億内容が保持されることは** [0051]また、図6の上記ステップS2にてYES (ストップ要求有り) と判別されたときには、ステップ 作を行い、ステップS9で各部の監領をオフし、ステッ **プS10のストップモードに到避する。 ここでステップ** S9の塩原オフ時にも、上記パックアップ用メモリへの

スク上の位置にヘッドアクセス関御が行われて、配録デ ータの就み取りが開始されるから、再生を停止した所か [0052] 以上のような動作によって、リジュームモ ドが選択されているときには、再生停止操作時のメモ 22からの既み出しデータについての時間情報がパッ クアップ用メモリに保持され、次に再生操作を行ったと きには、この保持されている時間情報に対応する光ディ ら続けて再生が再開されることになる。 が踏べある。

ッド、 6 サーが艶御回路、 8 [0053] なお、本発明は上配実施例のみに限定され

るものではなく、例えば光ディスクの記録再生装置のみ ならず、再生専用装置の制御方法にも本発明を適用でき

【発明の効果】以上の説明から明らかなように、本発明 に係る再生装置の制御方法によれば、光ディスクからへ - 夕圧縮処理されたデータを第1の速度で関欠的に読み

上記リジュームモードが設定されていることが検出され に上記ヘッド駆動手段を制御するステップとを有してい るため、中断した所の内容から続けて再生を行うことが ッド駆動手段によって駆動される光学ヘッドによってデ 取ってメモリに一旦記憶し、上記第1の選供よりも遅い 第2の速度で上配メモリに配憶されたデータ圧縮された データを読み出してデータ仲頭して再生することによっ て再生中の信号と上記光ディスクから読み出し中のデー て、上配データの再生の中断の指示の入力を検出するス アップと、上配データの再生の中断の指示の入力が徐出 された場合、上記データの再生を停止させるとともに上 記メモリから再生が停止されたときの再生停止時間情報 を読み出すステップと、上配再生停止時間情報を装置の 電頂の遮断時においても配億内容が保持される保持手段 に保持させるステップと、上配装置の電源を遮断するス ケップと、再生の再別の指示を検出するステップと、再 生の中断位置から再生の再開が行われるためのリジュー た場合に、上記保持手段に保持された上記再生停止時間 情報に基づいて上記光ディスクの上配停止時間情報に対 広するデータの記録位置からデータが読み取られるよう ムモードが設定されていることを検出するステップと、 タとで時間的なずれがある再生装置の制御方法におい

【図1】本発明に係る再生装置の制御方法の一実施例が **適用されるディスク配録再生装置の構成例を示すプロッ** [図面の簡単な説明] ク回路図である。 図2】配録媒体への配録単位となるクラスタ構造のフ |図3||いわゆるCD (コンパクトディスク) の規格に おけるフレーム及びセクタ (プロック) のフォーマット ーマットを示す図である。

[図4] 上記実施例のディスク記録再生装置の記録系に [図5] 上記実施例のディスク記録再生装置の再生系に を示す図である。

ę

[図6] リジューム機能に関連する動作を説明するため おいてメモリ側御されたメモリの状態を示す図である。 おいてメモリ制御されたメモリの状態を示す図である。 カフローチャートである。

2 光磁気ディスク、 3 光砕ヘッド、 [符号の説明]

7 システムコントロ

[図7] キー入力処理を説明するためのフローチャート

(E)

才信号出力端子 データ圧箱用エンコーダ、 14,22 メモ 15 エンコーダ、 16 磁気ヘッド駆動回 10 アナログオーディオ信号入力端子、

1 3

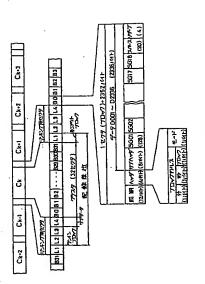
24 D/A変換器、 デコーグ 2 1 篮

[図1]

26 アナログオーディ データ伸及用デコー

23

[図2]

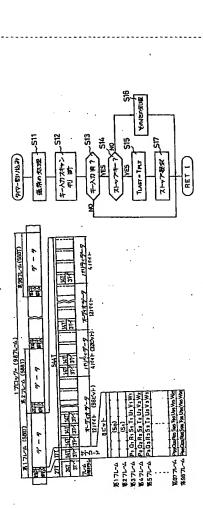


[図4]

[図6]



[8]



\$2 \(\times \) \(\

[图8]

This Page is Inserted by IFW Indexing and Scanning Operations and is not part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images include but are not limited to the items checked:

☐ BLACK BORDERS	
☐ IMAGE CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES	
☐ FADED TEXT OR DRAWING	
BLURRED OR ILLEGIBLE TEXT OR DRAWING	
☐ SKEWED/SLANTED IMAGES	
☐ COLOR OR BLACK AND WHITE PHOTOGRAPHS	
☐ GRAY SCALE DOCUMENTS	
LINES OR MARKS ON ORIGINAL DOCUMENT	
☐ REFERENCE(S) OR EXHIBIT(S) SUBMITTED ARE POOR QUALITY	
□ OTHER:	

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

As rescanning these documents will not correct the image problems checked, please do not report these problems to the IFW Image Problem Mailbox.